

令和5年2月28日 第3回有識者委員会開催 テーマ/ 男女共同参画を加速・促進するための方策案

委員長/ 太田信介、委員/ 鈴木紀之、富山英幸、西岡真帆

(敬称略、委員五十音順)

あと3年、理事長等幹部の皆さん、理事会などで意識の醸成をしてお願いします。
協議会※に説明等の支援も依頼できます。推進体制の強化、協議会の講師の人材育成が急務です。

※土地改良区運営基盤強化協議会：都道府県ごとに設置された男女共同参画等の推進母体です。



太田委員長

土地連（指導する側）の女性理事登用も必要です。
各県でしゃべれる人を最低1人は作っていく、同じように国でもまずは農政局に、男女共同参画の意義といった本論がしゃべれる人を育てなくてはなりません。運動を主導する側の人材育成が急務です。



全国水士里ネット
室本専務理事



農水省鈴木係員

必要ならば土地改良区の理事会に出席して、我々が説明します。
きちんと説明できる土地改良区の人が、地域の中に入り込んで、理事候補を自ら見つけてくる必要があります。

運動を主導する側の人材育成については、
各組織において、手足になってくれる人が必要です。



鈴木委員



富山委員



西岡委員

【目標達成に向けた推進体制】

協議会自体の行動計画が必要ではないでしょうか。支援の計画をしっかりと確立しておかないと、1年があつという間に過ぎてしまうような気がします。

【個別土地改良区等への対応】

協議会の支援チームのレベルをある程度上げていかないといけないと思います。
「とりあえずやっています」ではなく、男女共同参画がなぜ、土地改良区や地域に必要なのかを十分理解し、理事長等に確実に説明できるようにすることが必要だと思います。

【中小規模土地改良区対策】

登用における手続に土地改良区の大小は関係ありません。事例が1、2出てくれば、むしろこれらを参考に
して中小の方が動きやすいのではないのでしょうか。

いさわへいや
令和5年3月、先進事例の胆沢平野土地改良区(岩手県) を取材しました



総代の皆さんがこの人と決めて説得しました。令和5年2月に3人の女性の理事（員外）が選任され、既に経費節減などの提案をいただいています。（千田（ちだ）理事長）

■抱負

土地改良区の重要性が改めて分かりました。
まずは、自分が土地改良の仕事を知ることです。

■理事になってもいいと思ったきっかけ

総代の方からどうかお願いしたいと頼まれ、ここまで言われたらと引き受ける気になりました。

■女性理事候補がないという意見について

男性は地域を知らない、だから女性も知らない。
「いない」でなく「知らない」のだと思います。

※取材の詳細は、後日季刊誌等でお知らせします。

ひと口メモ：女性理事登用のヒント

「員内」 まずは組合員でいませんか（農地所有適格法人は、登記上の代表のみならず耕作者である女性構成員も理事候補になり得ます。）

「員外」 ・組合員のご家族（妻や娘）
・農業委員、JA役員、自治会役員など
・行政の審議会等の委員
・多面的機能支払交付金の活動を主導する方
・経理、会計、6次産業、広報等に詳しい方

12/22 第2回有識者委員会開催 テーマ/ 男女共同参画を加速・促進するための方策案

委員長/ 太田信介、委員/ 鈴木紀之、富山英幸、西岡真帆 (所属等は当ニュース第8号を参照してください)
特別委員/ 星野恵美子 那須野ヶ原土地改良区連合専務理事 (敬称略、委員五十音順)

農林水産省農村振興局 鈴木係員挨拶



男女共同参画は土地改良区に
とって良い面があることを納得
の上、自らの組織でどう進める
かを考えていただきたいのです。

全国水土里ネット 室本専務挨拶



柔軟な考え方で男女共同参画を
進めましょう。考えは変わって
きます。話を重ねれば歩み寄り
納得につながります。



星野特別委員メッセージ (リモート参加)

反対が多い中「候補がいるならやってみろ」と任され、農業士等地域で活躍している方に相談したところ、たくさんの候補者を紹介していただきました。理事会からも御意見をいただきながら、女性理事2人を登用できました。登用後は理事会の雰囲気が大きく好転、地域での情報共有も進みました。多少の強引さが必要な場合もありますが、理事長や理事の意見を十分に尊重することも重要です。

委員長意見

- 土地改良区運営基盤強化協議会に推進担当チームをつくるなど推進体制の整備が必須と考えます。
- 理事や総代への継続的・定期的な啓発が必要。理事会・総代会で行政職員から呼びかけていただきたい。

委員意見

- トップ(理事長)の理解がまずは必要です。地域ごとのトップセミナーが効果的と考えます。
- 土地改良区検査や土地改良区体制強化事業を活用。行動計画(ひと口メモ参照)のフォローアップが必要です。
- 女性理事候補をあげるには女性の視点が必要です。男性だけでは選べません。女性の会とも連携を。
- 「土地改良区の規模が小さいから登用できない。」の声に応えるよう登用事例を示すといいと思います。

ひと口メモ

土地改良区「最低」からの脱却を

2022年11月22日 日本農業新聞1面
「女性理事0.6% 土地改良区58職種で最低」
次に少ないのは消防吏員の3.2%

消防吏員でも
土地改良区の5倍
女性が参画しています



行動計画を作成しましょう

行動計画を作成すると女性理事登用までの流れがイメージできます。農林水産省の「手引き※1」に記載例があります。

農林水産省「手引き」 P19行動計画の作成イメージ



※1 農水省HP <https://www.maff.go.jp/j/nousin/kikaku/pdf/0412tebiki.pdf>
※2 R4年度26府県で開催している研修会で行動計画作成の実習を行っています

全国水土里ネット女性の会研修会10/21 100人で意見交換“意識醸成のための運動論”を探る

グループワークでの意見（抜粋）

- 変わっていくか変わらないかは理事長や理事次第。経営者である理事長の理解と行動が必要。
- トップや役員さんの考え方を変える研修会を開催する必要がある。
- 男性ばかり土地改良事業について勉強する場があったように思う。女性にも機会を与える。
- 女性もどんどん外へ出て、広い視野を持つことが必要。意識的にそのような機会を増やすことが重要。
- 女性だけでなく若い男女の意見も取り入れる。
- 国や全土連に理事会や総代会で男女共同参画の必要性を説明してほしい。

根本会長 メッセージ

多様な視点や価値観は創意工夫をもたらし、社会
を変える力となります。いま、これまで以上に女性
の参画が求められています。

女性がいきいきと活躍できる職場は、**すべての職員がいきいきと
活躍できる職場です。** その必要性を土地改良関係者それぞれの立場
で理解し、一体となって取り組むことが重要です。



全国水土里ネット根本由紀子会長
(かつの土地改良区事務局長)

基調講演



全国土地改良事業団体連合会
室本隆司専務理事

土地改良とは？業務・歴史、そして
事業の目的と農業振興活動の重要
性等々、いまお伝えしたい必須事項
をお話します。

皆さんで水土里の輪を各地で広げ
てください。私に皆さんの声を聞か
せてください。私も国会での話をし
ます。意見交換をしましょう！

応援メッセージ



都道府県水土里ネット会長会議
宮崎雅夫顧問

ひと口メモ

農業農村整備の集い(10/20)



全国土地改良事業団体連合会 二階俊博会長挨拶

いよいよ男女共同参画の取組み
を本格化させる時が来ました。
「理事の10%以上を女性にする」
今年から集中的に取り組んでいた
だくようお願いします。



男女共同参画功労者へ感謝状贈呈

萩原丈巳氏（水土里ネットやま
なし総務課長）は全国水土里ネット
女性の会初代会長として各県の
女性の会の立ち上げなどに尽力さ
れました。

企業の取組を研修(10/24)



田部井建設株式会社
川島弘美次長

私どもの会社では、男
性だから、女性だからと
いう意識が特になくと思
います。

「女性活躍推進法」と
いいますが、皆さん「女
性活躍」という言葉に違
和感を感じないですか。

女性はもともと活躍し
ていますよね。私の子供
が大人になる頃、昔はこ
んな言葉があったね、と
いうようになれば良いと
思います。（疏水ネットワ
ーク研修会）



令和4年度は男女共同参画の成果目標達成に向け、**本格的に運動をスタートする年**。
全国水土里ネットが農林水産省から受託した業務の目的は効果的な全国展開
全国26府県で**研修会**を行います。

土地改良区役職員の皆様の参加をお待ちします

令和4年度第1回有識者委員会開催 **テーマ：全国展開に向けた効果的な研修会の開催**
9月16日の有識者委員会では研修会に先だって熱い議論が展開されました。

令和4年度有識者委員会委員（敬称略、五十音順）

委員長 太田 信介 元農林水産省農村振興局長、前（一社）地域環境資源センター相談役
委員 鈴木 紀之 葛西用水路土地改良区参事、葛西・羽生領島中領土地改良区連合所長
委員 富山 英幸 栃木県土地改良事業団体連合会事務局長
委員 西岡 真帆 清水建設株式会社人事部ダイバーシティ推進室長

農林水産省農村振興局河嶋土地改良企画課長メッセージ

- 土地改良の分野で男女共同参画の成果目標が設定され早2年、女性理事登用の事例が徐々に聞こえてくる一方、登用率は0.6%と変化なく、現場の認知度が未だ低い。
- 男女共同参画は社会において男女が個人として能力を発揮する機会が確保されることを目指すもの。理事のみならず総代や職員を対象に取組を進めることが重要。
- 今年度は26府県で研修会を開催し理解を深めていく。委員には、より効果的な推進方法についてご意見をいただきたい。



委員長

- 男社会の土地改良分野で男女共同参画を進めるには、前例にとらわれず効果を重視することが重要。
- 研修会の役割は、土地改良区が男女共同参画の取組みに着手する重要な契機（トリガー）となること。

委員

- 昨年度委員をやって、初めは「女性理事を登用するメリットを考えなきゃ」と思ったが、終わりには**不毛な議論**になると思うようになった。**女性がいることが普通だし当たり前だという認識**をまず持たないと、なかなか推進はできないだろうというふうに思います。又、研修会については、聞くという立場じゃなくて、**参加する工夫**が必要だろうと思います。
- （個別支援の参考）周囲に反対されたが「候補がみつければ」という約束をとり、結果女性理事が登用できた事例がある。ときに**強引さも必要**だと思います。
- 女性のために、理事の人数を増やすのではなく、**男性のポジションに女性をいれるのが本来**だと思います。

早め早めの対策を！

ひと口メモ

成果目標女性理事を**10%**以上に、**最終期限は2025年度**です
最新値は**0.6%**、変わらずでした

項目	目標値 (期限)	計画策定時 の数値	最新値
女性理事が登用 されていない組織数	0 (2025年度)	3,737/3,900 (2016年度)	3,409/3,577 (2020年度)
理事に占める 女性の割合	10% (2025年度)	0.6% (2016年度)	0.6% (2020年度)



第5次男女共同参画基本計画における成果目標の動向（令和4（2022）年4月30日時点）

男女共同参画ポスター配布中

男女共同参画推進ニュース 2022.4 第7号

4月19日会長・事務責任者会議において
男女共同参画をテーマに講演が行われました

二階俊博会長より



土地改良の世界は、男女共同参画について非常に遅れをとっているところ。できない理由を並べるのではなく、できる方策を見つけることが大切。土地改良区の女性理事10%の目標達成に向け、連合会が中心となり、まったなしで取り組んで頂くようお願いする。

農林水産省より

土地改良区への女性理事登用に向けて、都道府県ごとの土地改良区運営基盤強化協議会において行政と連合会が連携して伴走型の支援を行う体制をつくる。連合会には、土地改良区に対する指導業務の一環として旗振り役を担っていただく。



社会保険労務士法人 飯田事務所 所長
特定社会保険労務士 飯田統一氏

- ・昭和21年に女性議員は39名当選していたことはすごいこと。男女共同参画は、戦後の困難な時代に既にスタートしていたのではないかと。
- ・重要なのは、実際に休暇制度などが職場に取り入れられているか、誰でも申請・利用することが可能になっているかどうか。
- ・男女共同参画の取組は職場だけでなく、まずは家庭での取組が大切。
- ・男女共同参画について、男性に任せればよいというものではない。女性が努力して、勉強して、仕事ができるようになっていけば、信頼され、上の評価も変わってくる。勇気と努力が必要だが、心あるひとは見ていてくれる。

- ・「チャンスは男性と同じように差し上げる」経営トップが社員に向けてメッセージを発信、率先して進めていく姿勢を示したことで清水建設の取組が加速した。
- ・男女共同参画は男性と女性が一緒に進めていくことが大事。「水土里ネット女性の会」も男性が自分事と捉えて一緒に進めるのがいい。
- ・アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）を知ること、思い込み（育児・介護があるから出張はできない等）が見えてくる。
- ・土地改良区の女性理事登用は「実力のある女性が理事になっていない」という現実を変えようとする。
- ・女性もスキルを磨いて組織に貢献する意識を持ち続けることが重要。



清水建設株式会社
人事部ダイバーシティ推進室長
西岡真帆氏

コラム 「全国水土里ネット女性の会」新役員を紹介(R4・4.1)

会長：根本由紀子（あきた水土里ネット女性の会会長 かつの土地改良区事務局長）
副会長：西 彩（水土里ネット熊本菊池・阿蘇支所支所長）
副会長：今枝愛子（水土里ネット愛知総務課係長）
事務局長：野口直子（全国水土里ネット土地改良広報センター主査）

【敬称略】

室本専務よりエール

- ・今回の講演には全国から多くの方が来場され、女性の会会員や都道府県土連職員と全土連職員との交流も一気に深まりました。
- ・土地改良関係者間の男女共同参画に対する意識が深まり、ベクトルが変わったことの表れと捉えています。
- ・土地改良には多様な人材が必要です。
- ・今年は運動の本格的スタートの年。これを機にそれぞれの立場で、男女共同参画の実現に邁進しましょう。



左から今枝副会長、根本会長
全国水土里ネット室本専務理事
西副会長、野口事務局長

◇根本会長のマイブームは
「家庭菜園」です